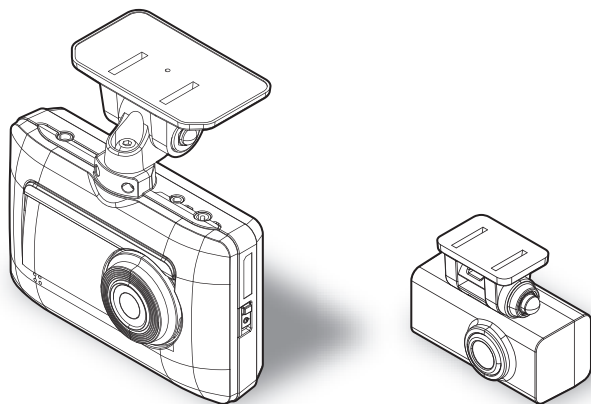


2 カメラドライブレコーダー SAA3060360 (本体記載型名：KZR-S100W)

取扱説明書



初期設定では、液晶表示は安全運転の妨げとならないように、起動後速度 10km/h 以上で走行すると非表示に切替ります。(⇒ P46)

この度は本製品をお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。本書は取付けおよび操作手順について記載してあります。正しくご使用いただくために本書をよくお読みのうえ、ご使用ください。お読みになった後は、いつでも見ることができる所に保管してください。

⚠ 注意

電源を ON にした状態や駐車監視モード中に microSDHC カードの抜挿しを行わないでください。microSDHC カードの破損や録画データの破損の原因となります。**必ず電源スイッチを OFF にし、LED が消灯したことを確認後、microSDHC カードの抜挿しを行ってください。**

👉 アドバイス

事故発生時は記録された録画データが上書きされないように、必ず microSDHC カードを抜いて保管してください。

販売元：スバル用品株式会社

はじめに

映像を撮る

映像を見る

運転支援機能を使用する

設定

駐車監視モードを使用する

その他

目次

目次	2	運転支援機能を使用する	31
はじめに	3	運転支援機能について	31
安全上のご注意	3	キャリブレーションを行う	35
ご使用上のお願い	5	設 定	37
知っておきたいこと	7	設定方法	37
新しい microSDHC カードを 使用する場合について	9	設定内容一覧	38
microSDHC カードの 取り出し方について	9	録画・録音設定	40
各部名称	10	機能設定	44
映像を撮る	11	運転支援機能設定	49
映像の記録について	11	駐車監視モードを使用する	51
電源を ON にする	16	駐車監視モードについて	51
電源を OFF にする	16	駐車監視モードの動作について	52
録画画面表示	17	駐車監視モードの各種設定	54
本体音量を調整する	19	付 録	57
映像を見る	20	よくあるご質問	57
本体で映像を再生する	20	LED ランプ確認表	58
再生画面表示	22	エラー確認表	58
パソコンで映像を再生する	23	記録時間の目安	59
パソコンで録画データを保存する	28	製品仕様	61
地図表示について	30	さくいん	62
ファームウェアを更新する	30	保証とアフターサービス	63

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、お使いになる方や他の人への危害や損害を未然に防止するため、必ずお守りください。

また注意事項は誤った取扱いをした時に生じる危害や損害の程度を、「危険」、「警告」、「注意」の3つに区分して、説明しています。

⚠ 警告 この表示は「使用者が死亡や重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。

⚠ 注意 この表示は、「使用者が傷害や物的損害を被る可能性が想定される内容」を示しています。

本書で使用している記号について	
	この記号は、してはいけない「禁止」内容を示しています。
	この記号は、しなければならない「強制」内容を示しています。
	この記号は、気をつけて頂きたい「注意」内容を示しています。
⇒ PXX	参照先を記載しています。(XX はページ)
アドバイス	本製品に関する補足情報を説明しています。
長押し	スイッチを3秒程度長めに押すことを示しています。

⚠ 警告	
	運転者は走行中に本製品を操作しないでください。わき見や前方不注意により交通事故の原因になります。運転者が操作する場合は、必ず安全な場所に車を停車させてから行なってください。
	本製品を水につけたり、水をかけたり、またぬれた手で操作しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
	本製品を分解・改造しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
	本製品が万一破損・故障した場合は、すぐに使用を中止して販売店へ点検・修理を依頼してください。そのまま使用すると火災・感電・お車の故障の原因となります。

はじめに

⚠ 警告	
	本製品を医療機器の近くで使用しないでください。医療機器に影響を与えるおそれがあります。
	穴やすき間にピンや針金を入れないでください。感電や故障の原因となります。
	異物が入ったり、煙が出ている、変な臭いがするなど異常な状態では使用しないでください。発火して火災の原因となります。
	microSDHC カードは子供の手の届かない場所に保管してください。誤って飲み込んでしまうおそれがあります。
	取付けネジの緩み、両面テープの剥がれなどないか、定期的に点検を行ってください。運転の妨げや事故の原因となることがあります。
⚠ 注意	
	気温の低いところから高いところへ移動すると、本製品内に結露が生じることがあります。故障や発熱などの原因となりますので、結露したまま使用しないでください。
	本製品を下記のような場所で保管しないでください。本体の変色や変形など故障の原因となります。 ・直射日光が当たる場所や真夏の炎天下など温度が非常に高い所。 ・湿度が高い所やほこりの多い所。
	microSDHC カードを本製品に挿し込む場合、挿し込み方向を間違えないでください。故障や破損の原因となります。
	本製品は精密な電子部品で構成されており、下記のようなお取扱いをするとデータの破損、故障の原因となります。 ・本体に静電気や電気ノイズが加わった場合。 ・本体を水にぬらしたり、落としたり、強い衝撃を与えた場合。 ・長期間使用しなかった場合。

ご使用上のお願い

- 本製品は全ての映像を記録することを保証するものではありません。予めご了承ください。
- 本製品は事故発生時の参考資料として使用することを目的とした製品です。完全な証拠としての効力を保証するものではありません。
- 本製品は車載用ドライブレコーダーとして設計されています。それ以外の用途には使用しないでください。またそれ以外の用途で使用した場合の不具合等に関しては一切の責任を負いかねます。
- 本製品は使用方法によりプライバシーなどの権利を侵害するおそれがありますのでご注意ください。またイタズラなどの目的で使用しないでください。これらの場合について、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 事故発生時は記録された録画データが上書きされないように、必ず microSDHC カードを抜いて保管してください。
- microSDHC カードの抜挿しを行う際は、必ず電源スイッチを OFF にし、LED が消灯したことを確認後行なってください。microSDHC カードへのデータ書き込み中および読み込み中に microSDHC カードの抜挿しを行うと、データ破損やデータ消失、microSDHC カード故障の原因となりますのでご注意ください。
- microSDHC カード内に本機以外のデータを入れないでください。動作が不安定になることがあります。
- 本製品を使用中にデータが消失した場合でも、データ等の保証は一切の責任を負いかねます。
- 万一のデータ消失に備え、必要なデータはパソコンに動画で保存することをお勧めします。
- 本製品を動作温度範囲外で使用すると、正常に動作しない場合や、映像が綺麗に記録されない場合があります。
- 真夏などの炎天下の中で使用する場合、液晶画面に「高温注意」が表示されるなど製品が正常に動作しない場合があります。特に夏場は車内が高温になるため、窓を開けるなど車内の温度を下げてからご使用ください。
- LED 式信号機は LED が高速で点滅しているため、信号機が点滅しているような映像が記録される場合があります。また逆光や信号機自体の輝度が低い等により、信号機の色が識別できない場合があります。そのような場合は、前後の映像、周辺の車両状況から判断してください。信号機の識別、記録に関する内容について弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品は広角レンズを使用しているため、映像の一部にゆがみや影が生じることがあります。また実際の遠近感とも異なります。これらは広角レンズの特性であり、異常ではありません。

はじめに

- 夜間にナビの画面や、昼間に太陽光を反射してダッシュボード等がガラスに映り込み、映像に残る場合があります。また外部環境により映像画質が変化します。
- ガラスに水滴がついているとき、汚れているときなどは、撮影した映像が見づらくなる場合があります。
- 一部断熱ガラス（金属コーティング・金属粉入りなど）、一部熱吸収ガラス、一部のミラー式フィルム装着車の場合、GPS 衛星からの電波が受信できない場合があります。
- 本製品は動作安定性向上のため、ソフトウェア（ファームウェア）のアップデートプログラムをホームページで公開する場合があります。定期的にホームページをご確認いただき、常に最新のバージョンでのご使用を推奨します。
※アップデートプログラムのダウンロードにかかる通信費やアップデートに関する作業代はお客様のご負担となります。
・掲載ホームページアドレス：
<https://www.koshida.co.jp/support/automobile/subaru/>
- 本製品は DC12V 車専用です。
- 本製品は日本国内でのみ使用できます。海外では使用できません。
- 本製品の仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

万一の事故発生時に映像が記録されていなかったり、記録した映像が破損した場合など、本製品の動作有無にかかわらず一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

知っておきたいこと

● GPS とは

「Global Positioning System」アメリカ国防総省の衛星を利用し、地上での現在位置を計測するシステムです。

● 準天頂衛星「みちびき」(QZSS) とは

「Quasi Zenith Satellites System」宇宙航空研究開発機構 (JAXA) の衛星を利用し、日本上空での現在位置を計測するシステムです。「みちびき」からの信号を受信することにより、GPS のみによる測位に比べ、山間部や都心部の高層ビル街などでも、さらに正確な現在位置を計測できるようになりました。

● GLONASS とは

「GLObal'naya NAVigatsionnaya Sputnikovaya Sistema」ロシア宇宙軍の衛星を利用し、地上での現在位置を計測するシステムです。

● 衛星データ

本製品は、一旦 GPS 衛星を正常に受信した後、衛星の移動軌跡を計算し記憶します。これは走行時にトンネルなどで衛星受信ができなくなった場合、再受信するまでの処理を早めるためです。また、まれに GPS 受信が長時間に渡ってできない場合があります。

● GPS 衛星受信と車載電子機器

車載テレビなどで UHF56 チャンネルを受信 (設定) している時やナビゲーション本体や、地デジチューナーおよび衛星放送受信機などの車載電子機器からの漏れ電波により、GPS 衛星を受信できないことがあります。そのような場合、車載電子機器から離し GPS 衛星の受信に影響のない箇所へ本製品を取付けてください。

● GPS の測定誤差について

本製品の GPS 機能は衛星の受信状態などにより、約 50m 程度の測定誤差が出る場合があります。

● GPS による速度表示について

GPS での速度計測は、車両スピードメーターの速度計測方法と異なるため、表示される速度に差が出る場合があります。

また車両が停車中の状態でも、速度表示が 0km/h にならない場合があります。これは GPS 受信の誤差によるもので、故障ではありません。あらかじめご了承ください。

はじめに

● 液晶ディスプレイについて

- ・液晶ディスプレイは 99.99% 以上の有効な画素がありますが、一部点灯しない画素や常時点灯する画素が存在する場合があります。これらは故障ではありません。あらかじめご了承ください。
- ・液晶ディスプレイは周囲の温度が約 75℃以上になるとディスプレイの全体が黒くなったり、約 -10℃以下になると画像が遅れて表示されたり、表示された画像が消えるのに時間がかかったりします。これは液晶ディスプレイの特性であって故障ではありません。周囲の温度がディスプレイの安定動作する温度になると元の状態に戻ります。

● microSDHC カードについて

- ・付属の microSDHC カードは本機専用です。
- ・本機を使用するときは、microSDHC カードが必要です。
- ・microSDHC カードは消耗品であり、書き込み可能回数など製品寿命があります。3 年を目安に交換することをお勧めします。また使用状況により microSDHC カードの寿命は短くなります。
※寿命となった microSDHC カードはパソコンでも読み込みができなくなるなど、正常に動作しなくなります。
- ・安定してご使用いただくため、新しい microSDHC カードをご使用になる場合や、動作が不安定になる場合は、本体の設定メニューから初期化することをお勧めします。
- ・microSDHC カードをフォーマットすると記録されたデータがすべて消去されます。
- ・本製品使用時は付属の microSDHC カードを使用してください。付属品または純正以外の microSDHC カードとの相性による動作不良については一切の責任を負いかねます。

● 本製品のファイルシステムについて

- ・本製品はドライブレコーダー向けに開発された専用ファイルシステムを採用しています。通常パソコンなどで使用されているファイルシステム（FAT など）に比べ、保存データの破損が少なく、万一記録データが破損しても復元する確率が高いファイルシステムです。
- ・本製品の専用ファイルシステムは記録と削除の繰り返しによる SD カードの断片化を格段に抑えたファイルシステムとなっているため、SD カードをフォーマットする頻度を大幅に減らし、使用することができます。
- ・本機で記録したデータをパソコンなどで削除を行なっても、本機に戻すと復元されます。記録したデータを削除する場合は、本体の設定メニューから SD カードの初期化を行なってください。
- ・パソコンなどでフォーマットを行なった microSDHC カードを本機へ挿入すると SD カードの初期化画面が表示されますので、そのまま使用する場合は初期化を行なってください。

● ライセンスについて

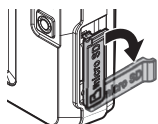
本製品は GNU Lesser General Public License（以下「LGPL」）に基づいてライセンスされた FANN ライブラリを使用しています。
LGPL および FANN ライブラリに関しては下記をご確認ください。
FANN ホームページ： <http://leenissen.dk/fann/wp/>
LGPL： <http://www.gnu.org/licenses/lgpl-3.0.html>

新しい microSDHC カードを使用する場合について

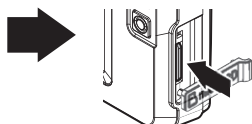
- 必ず本機に指定された純正の microSDHC カードを使用してください。
- 新しい microSDHC カードや付属以外の microSDHC カードを使用する際は、必ず本体の設定メニューから SD カードの初期化を行なってください。(⇒ P48)

microSDHC カードの取り出し方について

microSDHC カードを取り出すときは電源スイッチを OFF にして、一度 microSDHC カードを軽く押し込み、少し飛び出してきたら引き抜いてください。また挿入するときは、「カチッ」と音が鳴るまで挿し込んでください。



カバーを引き出し、横へ倒す。



microSDHC カードを軽く押し込み、



少し飛び出してきたら引き抜く。

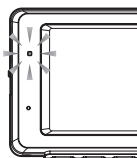
※ 挿入する時は逆の手順で行なってください。また必ず液晶側に microSDHC カードのロゴが見えるように挿入してください。逆向きに無理矢理挿入すると破損します。

⚠ 注意

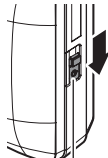
電源を ON にした状態や駐車監視モード中に microSDHC カードの抜挿しを行わないでください。microSDHC カードの破損や録画データの破損の原因となります。**必ず電源スイッチを OFF にし、LED が消灯したことを確認後、microSDHC カードの抜挿しを行なってください。**

駐車監視モード作動中の場合

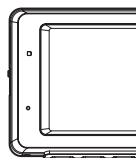
駐車監視モード作動中の場合、車両キースイッチを OFF にしても本体は動作しています。そのため microSDHC カードを抜く際は、**必ず電源スイッチを OFF にし、LED が消灯したことを確認後、microSDHC カードを抜いてください。**



駐車監視モード作動中
(LED3 回点滅の繰り返し)



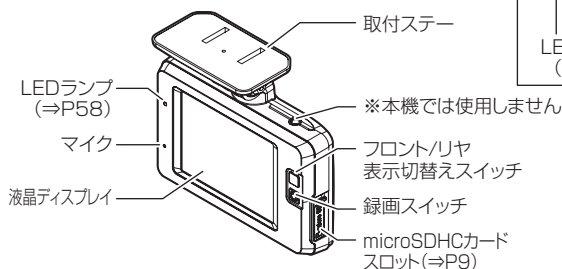
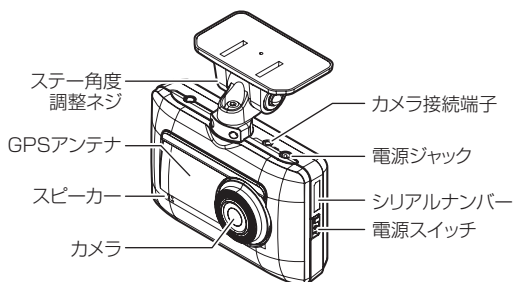
電源スイッチを
OFF にする



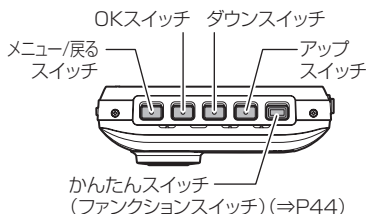
駐車監視モード停止
(LED 消灯)

はじめに

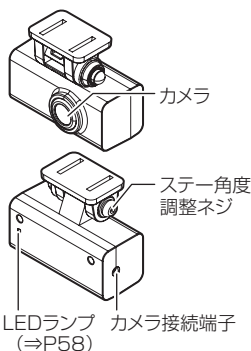
各部名称



■本体下部



リヤカメラ



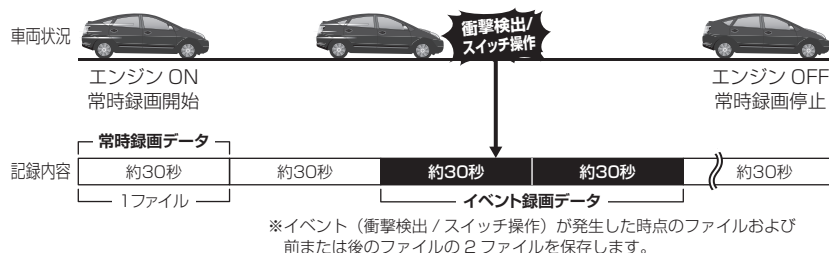
⚠ 注意

- ・ microSDHC カードは消耗品であり、3 年を目安に交換することをお勧めします。
- ・ microSDHC カードの性質上、書き込み可能回数など製品寿命があります。
- ・ 付属品または純正以外の microSDHC カードの動作保証は致しかねます。
- ・ 使用しない端子へのプラグの接続や異物の差し込みはしないでください。故障の原因となります。また動作保証致しかねます。
- ・ 本体の通気孔を塞がないでください。内部に熱がこもり、故障の原因となります。

映像を撮る

映像の記録について

本製品の記録方法は「常時録画」と「イベント録画」があります。



事故発生時の衝撃が弱い場合、衝撃による映像の記録ができない場合があります。その際は常時録画の映像をご確認ください。

👉 アドバイス

- ・初期設定では、microSDHC カードの容量がいっぱいになると、常時録画、イベント録画それぞれの録画領域の古いデータから上書きして新しいデータを記録します。設定により上書き時の動作を変更することができます。(⇒ P43)
- ・本体起動直後や録画データの記録直後にスイッチ操作や衝撃を検出すると、記録されないことがあります。
- ・スイッチ操作または衝撃による録画データの保存中は、スイッチ操作や衝撃を検出しても、新しく記録することはできません。
- ・LED ランプが橙点灯または橙点滅している場合は、映像を記録することはできません。設定を終了させるか、エラーを解除してください。

常時録画について

- ・電源スイッチを ON にした状態で、エンジンを ON（車両キースイッチを ACC または ON）にした後からエンジンを OFF（車両キースイッチを OFF）にするまでを、常時録画データとして microSDHC カードに自動で記録を続けます。
- ・初期設定では記録上限に達した場合、古い映像から順に消去し、新しい映像の記録を続けます。
- ・[上書き禁止] 設定を変更することにより、古い映像を消去せず、記録を停止することもできます。(⇒ P43)

映像を撮る

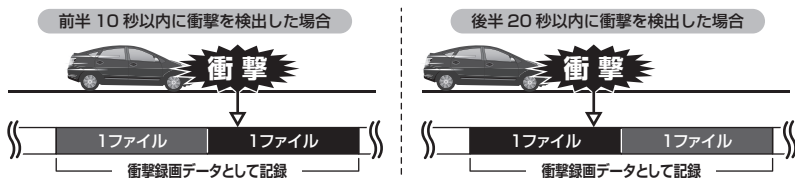
イベント録画について

- ・ イベント録画には衝撃を検出した時点のファイルを記録する『衝撃録画データ』、またスイッチ操作した時点のファイルを記録する『マニュアル録画データ』の2種類があります。
- ・ 初期設定は設定では記録上限に達した場合、古い映像から順に消去し、新しい映像の記録を続けます。
- ・ [上書き禁止] 設定を変更することにより、古い映像を消去せず、記録を停止することもできます。(⇒ P43)

イベント録画は1ファイルの前半10秒以内に衝撃の検出またはスイッチ操作をした場合は前のファイル、後半20秒以内に衝撃の検出またはスイッチ操作をした場合は後のファイルを『衝撃録画データ / マニュアル録画データ』として記録します。

■衝撃録画データ

- ・ 本製品内蔵のGセンサーが設定値以上の衝撃を検出すると、衝撃を検出した時点のファイルおよび前または次のファイルを『衝撃録画データ』として記録します。
- ・ Gセンサーの感度は設定により前後・左右・上下それぞれ0.1G単位で感度調整することができます。(⇒ P44)

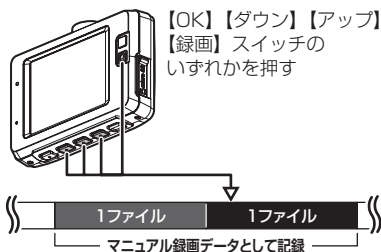


■マニュアル録画データ

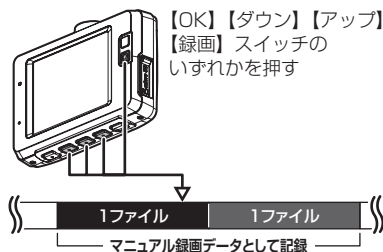
本製品の【OK】【ダウン】【アップ】【録画】スイッチのいずれかを押すと、スイッチを操作した時点のファイルおよび前または次のファイルを『マニュアル録画データ』として記録します。

※かんたんスイッチを【録画】に設定している場合はかんたんスイッチでも記録できます。

前半 10 秒以内にスイッチを操作した場合



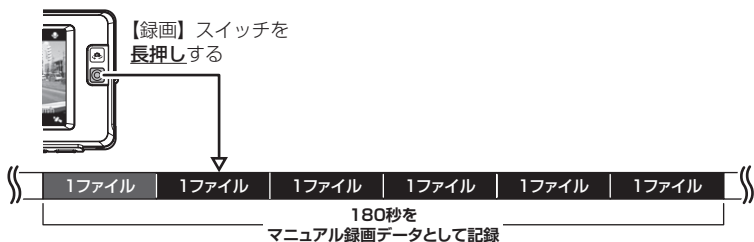
後半 20 秒以内にスイッチを操作した場合



👉 アドバイス

ロングマニュアル録画について

- ・本製品は録画スイッチを**長押し**することで、通常のマニュアル録画より長い時間記録できるロングマニュアル録画機能を搭載しています。
- ・ロングマニュアル録画は通常のマニュアル録画と異なり、常にスイッチを操作した時点の一つ前のファイルから 180 秒の映像を記録します。
- ・映像は通常のマニュアル録画と同様『マニュアル録画データ』として記録されます。
- ・[上書き禁止] 設定を変更した状態で、ロングマニュアル録画を行なった場合、記録上限に達した時点で記録を停止します。



映像を撮る

録画領域について

- ・初期設定は設定では microSDHC カード全体の 80% を常時録画、20% をイベント録画（衝撃録画 / マニュアル録画）の領域として設定されています。
- ・設定によりイベント録画のデータ保存容量の割合を [10% / 20% / 30%] から選択することができます。（⇒ P43）
- ・イベント録画領域の設定を変更すると、常時録画の保存容量の割合も連動して変更されます。
- ・駐車監視常時録画は常時録画の領域、駐車監視衝撃録画はイベント録画の領域に含まれます。そのため駐車監視モード中に記録上限に達した場合、通常の常時録画データまたはイベント録画データの古い映像から順に消去し、新しい映像の記録を続けます。

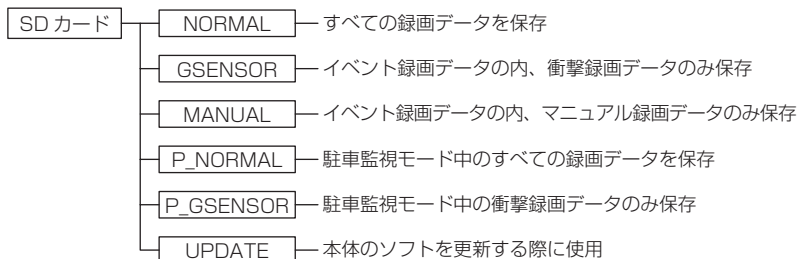


録画領域を変更する場合、SD カードの初期化が必要となり、記録されたデータが全て消去されます。変更する場合は必要に応じてパソコンなどへバックアップを行ってから設定を変更してください。

保存先フォルダー名・ファイル名について

本製品が記録したデータは、各項目ごとのフォルダーへ録画を開始した日時・録画データの種類をもとにしたファイル名で保存されます。

●フォルダー構成



●ファイル名称は以下の内容で保存されます。

録画を開始した 年 月 日 時 分 秒 ※

YYYY_MM_DD_hh_mm_ss_XXX.AVI

録画データ種類

※年月日および時分秒は本体に設定された日時情報をもとに記録されます。

例) 2020/02/09 17:23:45 に常時録画を開始したフォルダー名とファイル名

NORMAL — 2020_02_09_17_23_45_Nor.AVI
 2020_02_09_17_24_15_Nor.AVI
 2020_02_09_17_24_45_Nor.AVI
 ⋮

■録画データ種類部の表示について

表示	内容	表示	内容
Nor	常時録画データ	Gsn	衝撃録画データ
Man	マニュアル録画データ	P_Nor	駐車監視常時録画データ
P_Gsn	駐車監視衝撃録画データ		

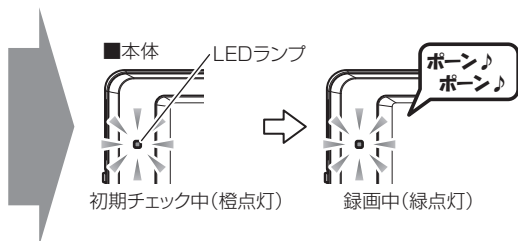
※ また録画状況により下記の内容が追記される場合があります。

表示	内容	表示	内容
Restore	復元されたデータ	c	高温または低温によるエラーで録画を終了したデータ
SDExit	録画中に電源 OFF されたデータ	s	緊急録画停止機能により録画を終了したデータ

映像を撮る

電源を ON にする

車両キースイッチを ACC または ON にし、電源スイッチを ON にしてください。



アドバイス

microSD カードチェック機能

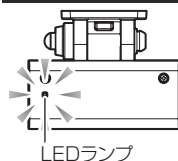
本製品では起動時に microSDHC カードをチェックし、カードが破損していた場合は液晶表示で異常をお知らせするため、撮り逃しを防止できます。

※対処方法に関しては P58 を参照ください。

リヤカメラの LED ランプについて

リヤカメラの LED ランプは起動中常に緑点灯します。点灯しない場合は接続を確認してください。

microSD カードを確認してください



電源を OFF にする

車両キースイッチを OFF または電源スイッチを OFF にしてください。



録画面面表示

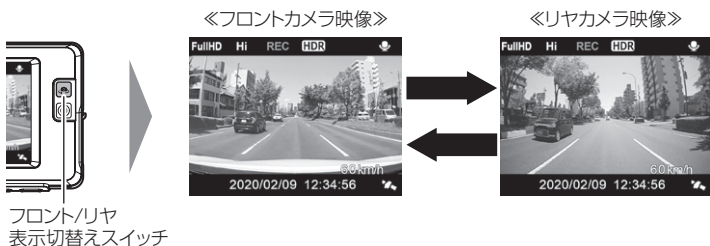


アイコン		表示内容
①	FullHD HD	録画サイズの設定を表示 (⇒ P40)
②	Hi Lo	画質の設定 (Hi: 高画質 / Lo: 低画質) を表示 (⇒ P40)
③	REC REC G REC M	録画種類を表示 REC: 常時録画 / REC G: 衝撃録画 / REC M: マニュアル録画
④	HDR WDR	画像補正機能の設定を表示 (⇒ P41)
⑤	ALL EVENT	上書き禁止の設定を表示 (⇒ P43)
⑥	🎤 🔇	音声録音の設定を表示 (⇒ P42)
⑦	📶 📶	GPS の受信状態を表示

映像を撮る

■液晶表示の切替えについて

録画面面の表示は「フロント／リヤ表示切替スイッチ」を押すたびに、フロントカメラの映像とリヤカメラの映像が切替わります。



リヤカメラを接続していないと映像は切り替わりません。

■2画面表示について

- 画面表示設定を【ON (2画面)】に設定するとフロントカメラとリヤカメラの映像を同時に表示することができます。
- またメイン表示部とサブ表示部は「フロント／リヤ表示切替スイッチ」を押すことで切替えることができます。(⇒P46)

- ・運転支援機能をONに設定している場合、2画面表示に設定することはできません。
- ・リヤカメラを接続していないと1画面表示になります。

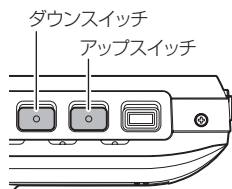


本体音量を調整する

- 本体の確認音やアナウンス音、記録映像再生時の音量を [OFF/1 ~ 10] の 11 段階から選択することができます。
- 音量を OFF に設定していても、エラー時の効果音は鳴ります。
- 初期設定は【5】に設定されています。

調整方法

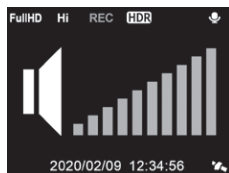
- 1) 【アップ】または【ダウン】を長押しし、
[音量調整画面] を表示する



映像を撮る

- 2) 【アップ】【ダウン】で音量を調整する

- ・【アップ】または【ダウン】の長押しで、押している間1つずつ上げ下げすることもできます。



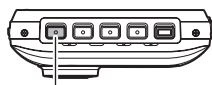
- 3) 【メニュー / 戻る】を押すと調整した音量に
設定され、録画画面に戻ります。

- ・一定時間操作を行わないと自動的に録画画面に戻ります。(調整した音量は保存されます)

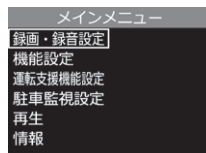


本体で映像を再生する

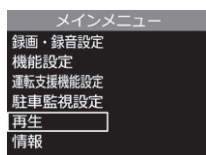
1. 【メニュー／戻る】を**長押し**し、メインメニューを表示する



メニュー／戻る



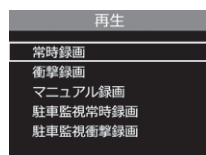
2. [再生]を【アップ】【ダウン】で選択し、【OK】を押す



ダウン アップ

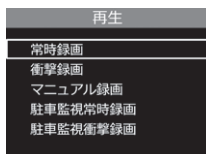


OK

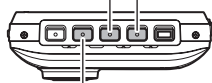


3. 映像の種類を【アップ】【ダウン】で選択し、【OK】を押す

- ・[常時録画].....常時録画データを表示
- ・[衝撃録画].....衝撃検出による録画データを表示
- ・[マニュアル録画].....スイッチ操作による録画データを表示
- ・[駐車監視常時録画].....駐車監視モードによる録画データを表示
- ・[駐車監視衝撃録画].....駐車監視モードの衝撃検出による録画データを表示



ダウン アップ



OK

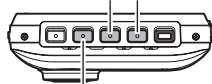


4. フォルダを【アップ】【ダウン】で選択し、【OK】を押す

※本体での表示は、録画した年月日時をもとにしたフォルダ名称で表示し、録画した時分秒をもとにしたファイル名称で表示します。



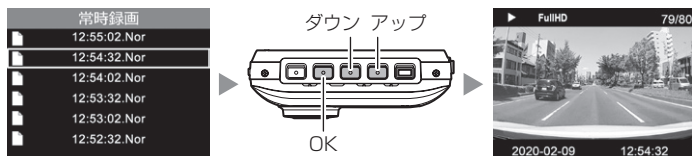
ダウン アップ



OK



5. 見たいファイルを【アップ】【ダウン】で選択し、【OK】を押すと映像の再生が始まります。

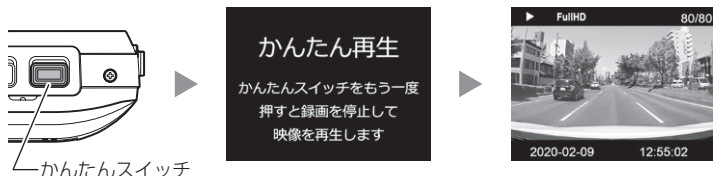


6. 再生終了後は【メニュー / 戻る】を押し、設定画面から抜けることで録画画面に戻ります。

👉 アドバイス

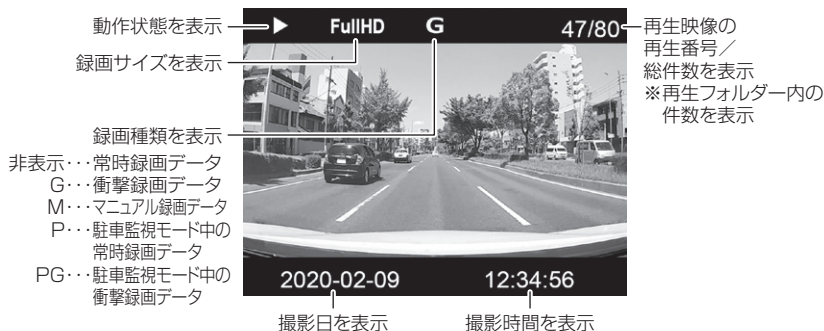
かんたん再生機能

- ・ 本製品のかんたんスイッチの設定を【再生】に設定していると、かんたんスイッチを押すことで、最後に撮影した映像を設定メニューに入らずに再生することができます。
- ・ 再生後は再度かんたんスイッチを押すことで録画画面に戻ります。
- ※ かんたんスイッチの機能は設定で変更することができます。(⇒ P44)
- ※ 初期設定は【録画】に設定されています

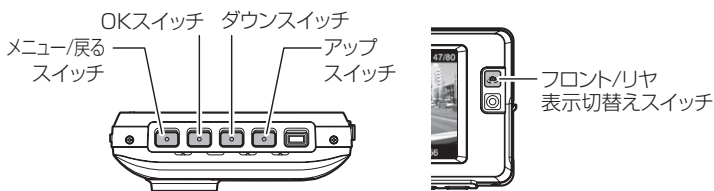


映像を見る

再生画面表示



再生画面での操作



操作スイッチ	短押し	長押し
メニュー / 戻るスイッチ	ファイルリストに戻る	メインメニューに戻る
OK スイッチ	再生 / 一時停止を行う	再生中のデータを最初から再生する
ダウンスイッチ	前のデータへ進む	音量を下げる
アップスイッチ	次のデータへ戻る	音量を上げる
フロント / リヤ表示切替えスイッチ	フロントカメラの映像、リヤカメラの映像を切替える	—

再生画面ではフロントカメラの映像とリヤカメラの映像を同時に表示することはできません。1 画面ずつの切替表示となります。

パソコンで映像を再生する

本製品で録画した映像は、ホームページよりダウンロードできる専用ビューワソフトをインストールすることで、加速度などの情報と併せて映像を見ることができます。

※ 専用ビューワソフト以外の再生ソフトを使用すると正常に再生できない場合があります。

👉 アドバイス

- ・ビューワソフトを使用する際は、下記に対応するパソコンのスペックを推奨します。
OS: 日本語版 Windows 7 / 8.1 / 10
CPU: Core 2 Duo プロセッサ 2.8GHz 同等以上を推奨
メモリー : 4GB 以上を推奨
モニター解像度 : SXGA (1280 × 1024 ピクセル) 以上を推奨
※ タブレット PC を除く
- ・パソコンの OS アップデートによりビューワソフトが正常に動作しなくなった場合はホームページより最新版のビューワソフトをダウンロードし、お試しください。

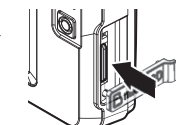
ビューワソフトを使用する前に

本体から microSDHC カードを抜いてください。microSDHC カードを抜く際は、車両キースイッチを OFF 後、本体の LED が消灯したことを確認し、microSDHC カードを取り出します。

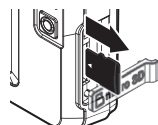
- ・ microSDHC カードを取り出すときは、一度 microSDHC カードを軽く押し込み、少し飛び出してきたら引き抜いてください。
- ・ 挿入するときは、「カチッ」と音が鳴るまで挿し込んでください。



カバーを引き出し、横へ倒す。



microSDHC カードを軽く押し込み、



少し飛び出してきたら引き抜く。

※ 挿入する時は逆の手順で行なってください。また必ず液晶側に microSDHC カードのロゴが見えるように挿入してください。逆向きに無理矢理挿入すると破損します。

⚠ 注意

電源を ON にした状態や駐車監視モード中に microSDHC カードの抜挿しを行わないでください。microSDHC カードの破損や録画データの破損の原因となります。**必ず電源スイッチを OFF にし、LED が消灯したことを確認後、microSDHC カードの抜挿しを行ってください。**

映像を見る

ビューワソフトを使用する

- 1) ホームページ (<https://www.koshida.co.jp/support/automobile/subaru/>) より専用ビューワソフトをダウンロードします。



PCVIEWER.zip
(ダウンロードしたファイル)

アドバイス

右記の二次元コードをスマートフォン等で読み取ることで、ホームページへアクセスすることができます。
最新のアップデート情報の確認やビューワソフトをダウンロードするため、URL を PC へ転送いただくなどご活用ください。



- 2) ダウンロードしたファイルを展開します。



PCVIEWER.zip
(ダウンロードしたファイル)



PCVIEWER フォルダ
(展開してできたフォルダ)

- 3) 本体から抜き取った microSDHC カードをパソコンへ挿入します。



- 4) 2) で展開したフォルダー内にあるビューワソフトをダブルクリックします。



- 5) 【読み込み】ボタンをクリックし、[フォルダ指定]をクリックします。

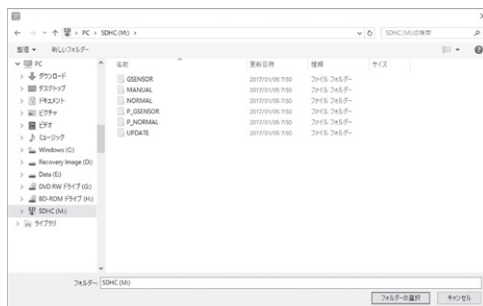


アドバイス

[ファイル追加] をクリックすることで、再生したい映像を1ファイル単位で選択できます。



- 6) microSDHC カードを選択します。



映像を見る

7) 再生したいファイルを選び【再生】ボタンを押すと映像が再生されます。

再生画面



①	メイン表示エリア ・フロントカメラの映像を表示【初期設定】 ・ダブルクリックするとフルスクリーンモードで映像を表示し、再度ダブルクリックすると通常表示に戻る	⑰	【リヤカメラ回転】 ボタン リヤカメラの映像を 180° 回転する
		⑱	【正像 / 鏡像】 ボタン リヤカメラの映像の正像 / 鏡像を切替える
②	サブ表示エリア ・リヤカメラの映像を表示【初期設定】 ・ダブルクリックするとフルスクリーンモードで映像を表示し、再度ダブルクリックすると通常表示に戻る	⑲	【読み込み】 ボタン ビューワソフトに読み込むフォルダーおよびファイルを指定する
		⑳	ビューワソフトの音量 / 再生速度を調整する
③	【地図表示】 ボタン ボタンを押すごとに地図の表示 / 非表示を切替える	㉑	最大加速度表示の範囲を表示する また【▲ / ▼】を押すことで表示の範囲を変更が可能
④	現在の映像の再生時間を表示	㉒	加速度グラフおよび各種検出アイコンを表示
⑤	現在の再生位置を表示		緑線.... 前後の加速度 (X 軸) 赤線.... 左右の加速度 (Y 軸) 青線.... 上下の加速度 (Z 軸)
⑥	自車の走行速度を表示 ※ GPS 受信時のみ表示		 衝撃を検出した場所
⑦	再生データの録画日時を表示		 スイッチ操作を検出した場所
⑧	加速度を数値で表示 またチェックボックスの ON/OFF でグラフの表示 / 非表示を選択		 緊急録画停止を検出した場所
⑨	【前へ】 ボタン 現在再生中の 1 つ前のファイルに戻る	㉓	常時録画フォルダーのデータを表示する
⑩	【頭出し】 ボタン 現在再生中の映像の最初に戻る	㉔	衝撃録画フォルダーのデータを表示する
		㉕	マニュアル録画フォルダーのデータを表示する
⑪	【再生 / 一時停止】 ボタン 再生を始める ※再生中は一時停止ボタンに切替わる	㉖	駐車監視モード中の常時録画データを表示する
⑫	【次へ】 ボタン 現在再生中の 1 つ次のファイルに進む	㉗	駐車監視モード中の衝撃録画データを表示する
⑬	【静止画】 ボタン 押した時点の映像を静止画 (jpeg) で 1 枚のみパソコンへ保存、または印刷する	㉘	録画データのファイルリストを表示
		㉙	【セーフモード】 ボタン ビューワソフトをセーフモードで再起動する ※記録された映像が正常に表示されない場合にご使用ください。
⑭	【動画】 ボタン ファイルリストのチェックボックスにチェックを入れた録画データをパソコンへ保存する	㉚	最小化ボタン
⑮	【表示切替】 ボタン メイン表示エリアとサブ表示エリアの映像を切替える	㉛	映像の表示サイズを切替える
		㉜	ビューワソフトを終了する
⑯	【フロントカメラ回転】 ボタン フロントカメラの映像を 180° 回転する	㉝	地図を表示

本製品の録画設定の変更や SD カードのフォーマット (初期化) は、製品本体にて行なってください。

映像を見る

パソコンで録画データを保存する

ビューワソフトの【動画】ボタンまたは【静止画】ボタンを押すことで、録画データを動画または静止画で保存することができます。

録画データを動画で保存する

- 1) 保存したいファイルのチェックボックスにチェックを入れる。

常時録画	衝撃録画	マニュアル	駐車常時	駐車衝撃
トリガ	年-月-日	時:分:秒		
☐	M	2020-02-09	10:46:17	
☐		2020-02-09	10:46:47	
☐		2020-02-09	10:47:18	
☐		2020-02-09	10:47:48	
☐		2020-02-09	10:48:18	
☐		2020-02-09	10:48:48	
☐		2020-02-09	10:49:19	
☐		2020-02-09	10:49:50	
☐		2020-02-09	10:50:20	

チェックボックス

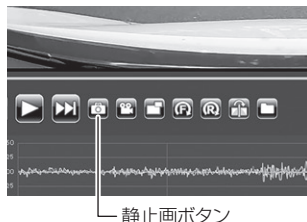
- 2) ビューワソフトの【動画】ボタンを押し、動画の保存先を選択後、【フォルダーの選択】を押す。



- ②【フォルダーの選択】を押す

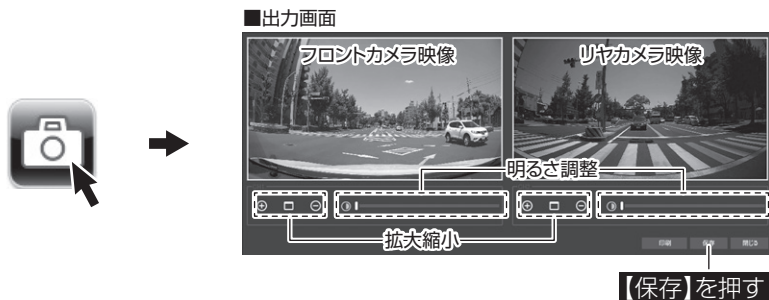
録画データを静止画で保存する

- 1) ビューワソフトの【静止画】ボタンを押す。



- 2) 出力画面が表示されるので、【保存】を押す。

- ・スライダーを動かすことにより、保存する画像の明るさを調整できます。
- ・拡大縮小ボタンは表示用です。印刷や保存時は元のサイズで印刷/保存されます。また中央のボタンを押すことで元のサイズに戻ります。



映像を見る

- 3) 静止画の保存先を選択後ファイル名を入力し、【保存】を押す。



- ②ファイル名を入力し、③【保存】を押す

アドバイス

- ・【静止画】ボタンを押し、「印刷」を押すと、静止画を直接印刷できます。
- ・保存および印刷されるのは映像部分のみです。日時や加速度は保存、印刷されません。

映像を見る

地図表示について

- ・ 走行速度および地図は GPS 情報がある場合に表示されます。また地図はインターネットに接続されていないと表示されません。
- ・ 地図上にファイルごとの走行軌跡や、衝撃検出・マニュアル録画検出・緊急録画停止検出の位置が表示されます。



《表示内容》

アイコン	内容	アイコン	内容
	衝撃検出アイコン		マニュアル録画検出アイコン
	緊急録画停止検出アイコン		

※ OpenStreetMap は OpenStreetMap 財団の登録商標です。

ファームウェアを更新する

ホームページよりファームウェアソフトをダウンロードすることで、本製品のアップデートを行うことができます。

👉 アドバイス

更新方法の詳細はホームページ (<https://www.koshida.co.jp/support/automobile/subaru/>) をご確認ください。ただし更新ソフトの準備がない場合、掲載はありません。

運転支援機能を使用する

運転支援機能について

- ・本製品は安全で快適な運転をサポートする運転支援機能を搭載しています。
- ・本機能を使用する場合は必ずキャリブレーション（補正）（⇒ P35,36）を行なってください。
- ・本製品の運転支援機能は下記の 6 つの機能を搭載しています。

項目	内容
先行車発進お知らせ機能	先行車の発進を検出し、お知らせを行います。
前方信号お知らせ機能	前方の信号機が青信号であることを検出し、お知らせを行います。
先行車接近お知らせ機能	先行車への接近を検出し、お知らせを行います。
車線逸脱お知らせ機能	走行車線の逸脱を検出し、お知らせを行います。
ドライブサポート機能	急加速や急減速等、一定以上の「G（加速・減速）」を検出し、お知らせを行います。
車速アラーム機能	設定した速度を超えた場合にお知らせを行いません。

運転支援機能をご使用する前に下記内容をご確認ください。

- ・運転支援機能は運転者の負担軽減を目的とし、周辺状況、走行状態の変化を補助的にお知らせする機能です。すべての周辺状況、走行状態の変化を判断することはできません。お知らせの有無にかかわらず、必ず運転者が状況・状態を確認してください。
- ・一部機能は GPS を受信していない状態では動作しません。
- ・本体の取付位置、角度、フロントガラスの汚れなどにより正しく動作しない場合があります。
- ・画像情報を基に動作するため、先行車や車線、信号機以外の周辺物や景色の変化などでもお知らせを行う場合があります。
- ・本機能につきましては、運転の参考にしていただく事を目的としているため、動作につきましては保証の対象外とさせていただきます。正確性の求められる使い方や誤反応への対処や保証、本機能を使用時のトラブルへの補償は致しかねます。
- ・『先行車発進お知らせ機能』『前方信号お知らせ機能』『先行車接近お知らせ機能』『車線逸脱お知らせ機能』の 4 つは、画面表示設定（⇒ P46）の [ON（2 画面）] と併用することはできません。
- ・初期設定はすべて【OFF】になっています。

運転支援機能
を使用する

運転支援機能を使用する

先行車発進お知らせ機能

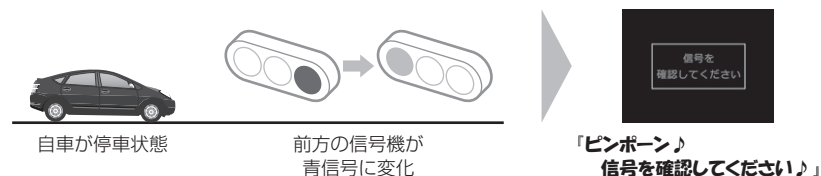
停車時に前方の車両の発進を検出した場合、画面表示を行い、しばらく走行を開始しないと音声またはアラームでお知らせします。



- ・ 自車が停止状態の時のみ動作します。
- ・ 先行車との距離、位置や周囲の状況、明るさ、気象条件等によって正しく動作しない場合があります。
- ・ 画像情報を基に動作するため、先行車以外の周辺物や景色の変化でもお知らせを行う場合があります。
- ・ 先行車の形状や色により正しく動作しない場合があります。
- ・ 画面設定が「OFF」または「速度連動」の場合、画面表示は行いません。

前方信号お知らせ機能

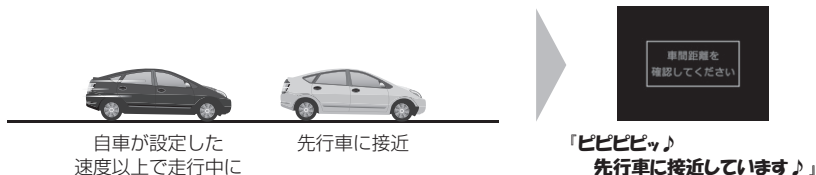
停車時に前方の信号機が青信号の場合、画面表示を行い、しばらく走行を開始しないと音声またはアラームでお知らせします。



- ・ 自車が停止状態の時のみ動作します。
- ・ 信号機との距離、位置や周囲の状況、明るさ、気象条件等によって正しく動作しない場合があります。
- ・ 画像情報を基に動作するため、信号機以外の周辺物や景色の変化でも前方信号お知らせを行う場合があります。
- ・ 画像情報内に複数の信号機が存在する場合、自転車進行方向以外の信号機をお知らせする場合があります。
- ・ 信号機の種類、色、明るさ、により正しく動作しない場合があります。
- ・ 矢印信号などは検出できません。
- ・ 画面設定が「OFF」または「速度連動」の場合、画面表示は行いません。

先行車接近お知らせ機能

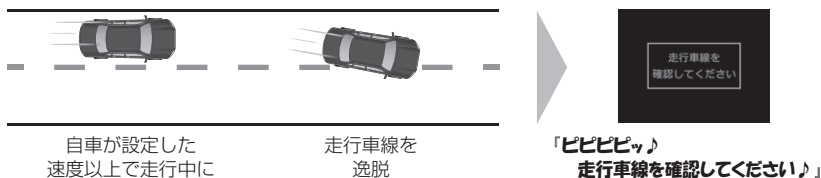
設定した速度以上で走行中に前方の車両に接近したことを検出した場合、画面表示と音声またはアラームでお知らせします。



- ・GPSを受信していない状態では動作しません。
- ・自車が設定した速度以上で走行時のみ動作します。
- ・先行車との距離、位置や車線幅、周囲の状況、明るさ、気象条件等によって正しく動作しない場合があります。
- ・画像情報を基に動作するため、先行車以外の周辺物や景色の変化でも接近お知らせを行う場合があります。
- ・先行車の形状、色、により正しく動作しない場合があります。
- ・画面設定が「OFF」または「速度連動」の場合、画面表示は行いません。

車線逸脱お知らせ機能

設定した速度以上で走行中に走行車線を逸脱したことを検出した場合、画面表示と音声またはアラームでお知らせします。



- ・GPSを受信していない状態では動作しません。
- ・自車が設定した速度以上で走行時のみ動作します。
- ・道路の色、車線の色、種類や周囲の状況、明るさ、気象条件等によって正しく動作しない場合があります。
- ・画像情報を基に動作するため、車線以外の周辺物や景色の変化でも車線逸脱お知らせを行う場合があります。
- ・車両ウinkerと連動しないため、車線変更時にも車線逸脱お知らせを行います。
- ・画面設定が「OFF」または「速度連動」の場合、画面表示は行いません。

運転支援機能を使用する

ドライブサポート機能

- ・急加速や急減速等、一定以上の「G（加速・減速）」を検出した場合、音声またはアラームでお知らせします。
- ・運転状況に応じてアナウンスは異なります。

運転状況	内容
急加速時	ピッピ♪ 急加速を検知しました。
急減速時	ピッピ♪ 急ブレーキを検知しました。
急ハンドル時	ピッピ♪ 急ハンドルを検知しました。

例) 急ブレーキを行なった場合



急ブレーキを行い、
一定以上の G を検出

「ピッピ♪
急ブレーキを検知しました。」

アドバイス

- ・ G センサーの設定に応じて検出レベルが変化します。
- ・ アラームが鳴らないように運転をすることで、加速・減速など運転をする際の目安にしてください。
- ・ スイッチ操作または衝撃により映像を記録している時はドライブサポートは作動しないことがあります。

車速アラーム機能

- ・ 設定した速度を超えた場合に、音声またはアラームでお知らせします。
- ・ 警告後 1 分間は再アラームを行いません。



自車が設定した速度を超える

「キンコン♪
キンコン♪
キンコン♪」

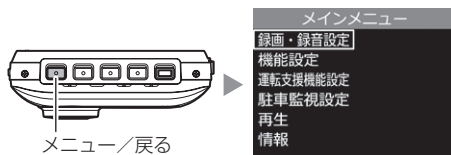
キャリブレーションを行う

運転支援機能を使用する場合は必ずキャリブレーションを行なってください。運転支援機能が正常に機能しない場合があります。

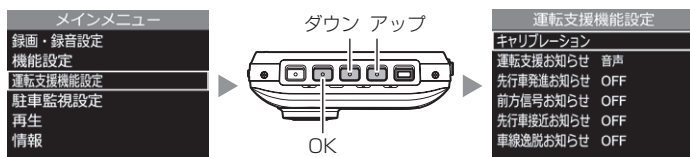
- ・キャリブレーションは他の車輛の通行の妨げにならない安全な場所で行なってください。またなるべく平坦な場所で行なってください。
- ・運転者は走行中に操作を絶対に行わないでください。必ず停車した状態で操作を行なってください。

キャリブレーション方法

1. [メニュー/戻る] を長押しし、メインメニューを表示する

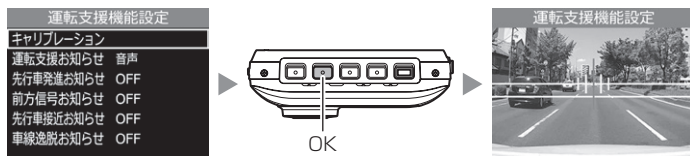


2. [運転支援機能] を【アップ】【ダウン】で選択し、【OK】を押す



運転支援機能
を使用する

3. [キャリブレーション] が選択されているので、【OK】を押す



運転支援機能を使用する

4. 【アップ】【ダウン】スイッチを操作し、赤色の縦線が車線の近くになるように左右方向の調整を行います。



赤の縦線が車線の中心になるように
【アップ】【ダウン】や本体の向きで調整する。

5. 手順 4 の調整後、【OK】 を押し完了です。

設定方法

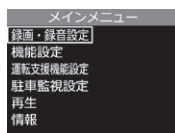
本製品の設定は、本体のメインメニューから変更を行うことができます。

【おまかせ録画】、【録画サイズ】、【フレームレート】、【画質】、【イベント録画領域】の設定を変更した際は microSDHC カード内のデータがすべて消去されます。録画データが必要な場合は、必ずパソコンに保存してください。(⇒ P28)

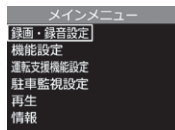
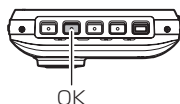
設定画面での操作方法

例: 録画サイズの設定を【FullHD(1920 × 1080)】に設定変更するには・・・

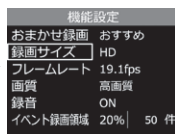
1. 【メニュー／戻る】を長押しし、設定画面の【メインメニュー】を表示する



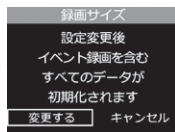
2. 【録画・録音設定】が選択されているので【OK】を押す



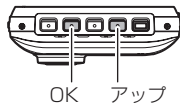
3. 【ダウン】を1回押して【録画サイズ】を選択し、【OK】を押す



4. SD カードの初期化確認画面が表示されるので、初期化しても問題がなければ【OK】を押す

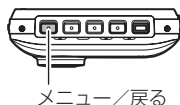


5. 【アップ】を1回押して【FullHD(1920 × 1080)】を選択し、【OK】を押す



6. 【メニュー／戻る】を長押しし、設定画面を抜けると録画画面に戻ります

・録画画面に戻らず続けて別項目を設定することもできます。



設定

設定内容一覧

録画・録音設定一覧

項目	設定内容	初期設定	備考
おまかせ録画	おすすめ / キレイ / ロング	キレイ	microSDHC カードが初期化されます※ 1
録画サイズ	Full HD (1920 × 1080) / HD (1280 × 720) /	FullHD (1920 × 1080)	
フレームレート	19.1fps / 29.1fps	29.1fps	
画質	高画質 / 低画質	高画質	
フロントカメラ画像補正	OFF / HDR-ON / WDR-ON	OFF	
フロントカメラ輝度	明 (+1) / 標準 / 暗 (-1)	標準	
リヤカメラ輝度	明 (+3) / 明 (+2) / 明 (+1) / 標準 / 暗 (-1)	標準	
リヤカメラ上下反転	標準 / 反転	標準	
リヤカメラ鏡像	正像 / 鏡像	正像	
録音	ON / OFF	ON	
イベント録画領域	10% / 20% / 30%	20%	microSDHC カードが初期化されます※ 1
上書き禁止	OFF / イベント録画 / 全録画	OFF	

※ 1 microSDHC カード内のデータがすべて消去されます。録画データが必要な場合は、必ずパソコンに保存してください。(⇒ P28)

機能設定一覧

項目	設定内容	初期設定	備考
かんたんスイッチ	再生 / 録画 / 録音	録画	
G センサー	OFF / 0.1G ~ 1.0G	0.6G	前後 / 左右 / 上下それぞれ設定可能
タイムスタンプ	OFF / ON	OFF	
緊急録画停止	OFF / 1.1G ~ 2.0G	2.0G	
液晶明るさ	明るい / 標準 / 暗い	標準	
画面表示	OFF / 時計 / 速度連動 / ON (1 画面) / ON (2 画面)	速度連動	
録画お知らせ	OFF / 音声 / アラーム	音声	
日時設定	—	—	
パスワード設定	無効 / 有効 / パスワード登録	無効	
SD カードの初期化	—	—	
工場出荷状態に戻す	—	—	

運転支援機能設定一覧

項目	設定内容	初期設定	備考
キャリブレーション	—	—	詳細は P35,36
運転支援お知らせ	音声 / アラーム	音声	
先行車発進お知らせ	OFF / ON	OFF	
前方信号お知らせ	OFF / ON	OFF	
先行車接近お知らせ	OFF / 50 ~ 100km/h	OFF	10km/h 単位で 設定可能
車線逸脱お知らせ	OFF / 50 ~ 100km/h	OFF	10km/h 単位で 設定可能
ドライブサポート	OFF / ON	OFF	
車速アラーム	OFF / 30 ~ 140km/h	OFF	10km/h 単位で 設定可能

駐車監視設定一覧

項目	設定内容	初期設定	備考
駐車監視モード	OFF / ON	OFF	詳細は P51
駐車監視録画方式	衝撃録画 / 常時・衝撃録画 / タイムラプス録画	衝撃録画	
ナイトビジョン	OFF / ON	OFF	
駐車監視衝撃感度	0.03G ~ 0.15G	0.08G	0.01G 単位で 設定可能
駐車監視録画時間	30 分 / 1・3・6・9・12 時間 / 常時 ON	30 分	
駐車監視録画停止電圧	11.9V / 12.0V / 12.1V / 12.2V	12.2V	
駐車監視降車キャンセル	1 分 / 3 分	1 分	
駐車監視乗車キャンセル	1 分 / 3 分	1 分	

設定

録画・録音設定

【おまかせ録画】、【録画サイズ】、【フレームレート】、【画質】、【イベント録画領域】の設定を変更した際は microSDHC カード内のデータがすべて消去されます。録画データが必要な場合は、必ずパソコンに保存してください。(⇒ P28)

おまかせ録画設定 ※設定を変更すると microSDHC カードが初期化されます

- ・【録画サイズ】や【フレームレート】および【画質】の設定を一括で簡単に変更することができます。
- ・設定は [キレイ / ロング / おすすめ] から選択できます。
- ※ 各設定を個別で変更した際は [ユーザー設定] と表示されます。

■設定内容

設定	おすすめ	キレイ	ロング
録画サイズ	HD	FullHD	HD
フレームレート	19.1fps	29.1fps	19.1fps
画質	高画質	高画質	低画質

録画サイズ設定 ※設定を変更すると microSDHC カードが初期化されます

- ・記録する映像サイズを [Full HD (1920 × 1080) / HD (1280 × 720)] から選択できます。
- ・初期設定は 【Full HD (1920 × 1080)】 に設定されています。

フレームレート設定 ※設定を変更すると microSDHC カードが初期化されます

- ・記録する映像のフレームレートを [19.1fps/29.1fps] から選択できます。
- ・初期設定は 【29.1fps】 に設定されています。

👉アドバイス

フレームレートとは 1 秒あたりの記録枚数を表しており、fps (Frames Per Second) という単位で表します。数値が大きいほど映像が滑らかに再生されますがデータサイズが大きくなり、microSDHC カードに記録できる件数が減ります。

画質設定 ※設定を変更すると microSDHC カードが初期化されます

- ・記録する映像の画質を [高画質 / 低画質] から選択できます。
- ・初期設定は 【高画質】 に設定されています。

フロントカメラ画像補正設定

- ・本製品には画像補正機能として、HDR（ハイ・ダイナミック・レンジ）機能および WDR（ワイド・ダイナミック・レンジ）機能を搭載しています。
- ・HDR 機能または WDR 機能を ON にすることで白とびや黒つぶれを補正した録画データを記録することができます。

[OFF]画像補正を行わず、撮影したデータのまま記録します。

[HDR-ON]画像補正により、鮮明な映像を記録します。

[WDR-ON]画像補正により、HDR 機能より鮮明さは低くなりますが、より自然な色味で映像を記録します。

- ・HDR 機能を ON にすると撮影条件によって一部の画像が二重に重なって記録される場合があります。
- ・初期設定は【OFF】に設定されています。

アドバイス

白とび / 黒つぶれとは

白とび..... 明るい部分が真っ白に映っている様子を言います。

黒つぶれ..... 暗い部分が真っ黒に映っている様子を言います。

フロントカメラ輝度設定

- ・フロントカメラで撮影する映像の明るさを [明 (+1) / 標準 / 暗 (-1)] から選択することができます。
- ・初期設定は【標準】に設定されています。

リヤカメラ輝度設定

- ・リヤカメラで撮影する映像の明るさを [明 (+3) / 明 (+2) / 明 (+1) / 標準 / 暗 (-1)] から選択することができます。
- ・初期設定は【標準】に設定されています。

設定

リヤカメラ上下反転設定

- ・リヤカメラで撮影する映像の上下方向を [標準 / 反転] から選択することができます。
- ・設置場所により [標準 / 反転] を変更してください。
- ・初期設定は【標準】に設定されています。

リヤカメラ鏡像設定

- ・リヤカメラで撮影する映像を [正像 / 鏡像] から選択することができます。
- ・【鏡像】に設定することでルームミラーで後方を確認したような映像を記録できます。
- ・初期設定は【正像】に設定されています。

■ 正像設定



後方を直接確認したような映像で記録

■ 鏡像設定



後方をルームミラーで確認したような映像で記録

録音設定

- ・音声録音を行うかの [ON/OFF] を設定できます。
- ・初期設定は【ON】に設定されています。

イベント録画領域設定※設定を変更すると microSDHC カードが初期化されます

- ・ イベント録画（衝撃録画およびマニュアル録画）のデータ保存容量の割合を [10% / 20% / 30%] から選択することができます。（⇒P14）
- ・ イベント録画領域の設定を変更すると、常時録画の保存容量の割合も連動して変更されます。
- ・ 初期設定は【20%】に設定されています。

👉 アドバイス

初期設定では microSDHC カード全体の 80% を常時録画、20% をイベント録画（衝撃録画およびマニュアル録画）の領域として設定されています。

■ microSDHC カード容量によるイベント録画ファイル数の目安

設定	録画ファイル数
10%	約 40 ファイル
20%	約 80 ファイル
30%	約 120 ファイル

※ 付属 microSDHC カードは 32GB になります。

※ 上記イベント録画ファイル数は目安となり、実際と異なる場合があります。

上書き禁止設定

- ・ 録画データが microSDHC カード容量の上限まで達した場合の動作を、[OFF/ イベント録画 / 全録画] から選択できます。
- ・ 初期設定は【OFF】に設定されています。

設定		上限に達した場合	
		常時録画	イベント録画
OFF	すべての録画データを上書きします。	上書きして録画を継続	上書きして録画を継続
イベント録画	イベント録画データのみ上書きされません。	上書きして録画を継続	録画を停止
全録画	すべての録画データは上書きされません。	録画を停止	録画を停止

👉 アドバイス

上書き禁止設定を [イベント録画]、[全録画] に設定した状態で、microSDHC カード容量の上限に達すると、右記の画面を表示しお知らせします。



設定

機能設定

かんたんスイッチ設定

- ・かんたんスイッチの動作内容を [再生 / 録画 / 録音] から選択することができます。
- ・初期設定は **【録画】** に設定されています。

[再生]最後に撮影した映像を設定メニューに入らず再生できます。(⇒ P21)

[録画]マニュアル録画を行います。

[録音]一時的に録音設定の ON/OFF を切替えます。

アドバイス

【録音】 設定にした場合

- ・かんたんスイッチを押すたびに録音の ON/OFF が切替わります。
- ・かんたんスイッチ操作により設定を切替えた場合、再起動や設定メニューに入る、緊急録画停止機能が作動するなどの場合、**【録音設定】** (⇒ P42) で選択した設定に戻ります。

G センサー設定

- ・衝撃を検出する感度を前後・左右・上下のそれぞれ [OFF/0.1G (敏感) ~ 1.0G (鈍感)] から選択できます。
- ・[OFF] に設定すると衝撃検出での録画を行いません。
- ・初期設定はそれぞれ **【0.6G】** に設定されています。

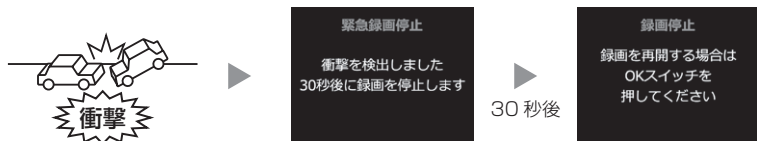
タイムスタンプ設定

- ・本設定を ON にすることで録画データに録画日時を埋め込むことができます。
- ・初期設定は **【OFF】** に設定されています。

タイムスタンプ機能は映像と録画しながら日時を埋め込むため、処理状況により若干の時間のずれが発生することがあります。

緊急録画停止設定

- ・緊急録画停止機能とは、事故などで強い衝撃を検出した後の約 30 秒後に、自動で録画を停止し、重要なデータの上書きを防止する機能です。
- ※ 前後・左右・上下いずれかの衝撃が設定値を超えた際に録画を停止します。
- ・衝撃を検出する感度を [OFF/1.1G(敏感)~2.0G(鈍感)] から選択できます。
- ・初期設定は **【2.0G】** に設定されています。
- ※ 衝撃録画の G センサー設定 (⇒ P44) とは異なります。



マニュアル録画 (⇒ P26) 中に緊急録画停止機能が作動した場合、マニュアル録画データとして microSDHC カードに保存されます。

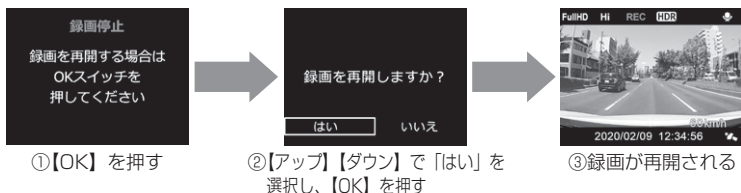
👆 アドバイス

事故にあった際に...

本製品は microSDHC カードの容量がいっぱいになると、常時録画、衝撃 / マニュアル録画それぞれの古いデータを上書きして新しいデータを記録します。そのため事故後 microSDHC カードを抜かずにそのまま車両を移動させたり、修理工場で修理を行う際など本製品の電源が ON になった場合、重要なデータが不意に上書きされてしまう可能性があります。万一、事故に遭遇した際に、冷静に本製品の電源を OFF にし microSDHC カードを抜く、といった行動を取るのが難しいと考えられる場合、本機能を有効にしておくことをお勧めします。

■録画を再開する場合

緊急録画停止機能によって録画が停止した場合、本製品を再起動しても録画が停止したままとなります。録画を再開する場合は、下記手順で録画を再開してください。



設定

液晶明るさ設定

- ・液晶ディスプレイの明るさを [明るい / 標準 / 暗い] から選択することができます。
- ・初期設定は【標準】に設定されています。

画面表示設定

- ・録画モード中の液晶ディスプレイの表示を [OFF / 時計 / 速度連動 / ON (1 画面) / ON (2 画面)] から選択することができます。
- ・初期設定は【速度連動】に設定されています。

■設定内容

- [OFF]液晶ディスプレイの表示を行いません。【メニュー / 戻る】スイッチを押した時のみ、液晶ディスプレイにフロントカメラまたはリヤカメラの映像を 30 秒間表示し、消灯します。
- [時計]時計とカレンダーを常に表示します。
- [速度連動]GPS を受信した後、速度 10km/h 以上で走行すると、液晶ディスプレイは非表示に切替わります。
停車後も非表示のままとなりますが、【メニュー / 戻る】スイッチを押すことで、フロントカメラまたはリヤカメラの映像を表示します。
※再度走行し 10km/h 超過後は、走行 / 停車に関わらず 30 秒経過すると消灯します。
- [ON (1 画面)] ...液晶ディスプレイを常に表示します。フロントカメラまたはリヤカメラの映像を全画面で表示します。(⇒ P18)
- [ON (2 画面)] ...液晶ディスプレイを常に表示します。フロントカメラとリヤカメラの映像を同時に表示します。(⇒ P18)

👉 アドバイス

速度連動設定について

起動時は液晶ディスプレイを常に表示し、GPS を受信するまでの間、液晶ディスプレイを表示します。

録画お知らせ音設定

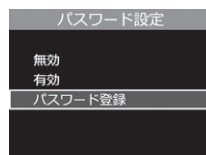
- ・起動時の音を [OFF / 音声 / アラーム] から選択することができます。
- ・初期設定は【音声】に設定されています。

パスワード設定

- ・パスワードを設定することで、本製品で他人に録画データを見られないようにするなど、プライバシーの保護やセキュリティを強化することができます。
 - ・パスワードを設定すると、設定メニューへ入る際にパスワードを入力しないとメニュー画面が表示されません。
 - ・初期設定は【無効】に設定されています。
- ※ パスワードを設定していると、かんたんスイッチ操作による「再生」操作も行うことができません。（録画）、（録音）操作は可能です）

■設定方法

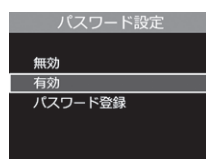
- 1) 【アップ】【ダウン】で「パスワード登録」を選択し、【OK】を押す



- 2) 【アップ】【ダウン】で数字を選択し、【OK】で決定し、4文字のパスワードを入力し【OK】を押してパスワードを登録する



- 3) 【アップ】【ダウン】で「有効」を選択し、【OK】を押すと設定完了です。次回以降設定メニューに入る際に、パスワードの入力が必要になります。



- ・パスワードは忘れないように管理してください。
- ・誤ったパスワードを入力した場合、『パスワードが一致しません。再入力してください』と表示されるので、再度入力を行なってください。
- ・パスワードを解除する場合、パスワードを入力して設定メニューに入り、パスワード設定画面で「無効」を選択してください。

【パスワードを忘れてしまった場合】

パスワードの入力を6回失敗すると消去することができます。ただし、録画データもすべて消去されてしまいますのでご注意ください。

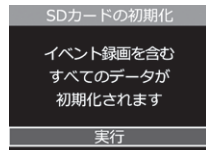
設定

SD カードの初期化（内部データの消去）

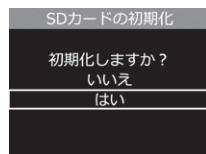
- ・ microSDHC カードの内部データを消去し初期化を行います。
（初期化を行っても本体の設定情報は保持されます）
- ・ 新しい microSDHC カードや付属以外の microSDHC カードを使用する場合は、必ず SD カードの初期化を行なってください。

■初期化方法

1) 【OK】を押し、[実行] を選択する



2) 【ダウン】で [はい] を選択し、【OK】を押すと microSDHC カードが初期化されます



👉 アドバイス

microSDHC カード内のデータがすべて消去されます。録画データが必要な場合は、必ずパソコンに保存してください。（⇒ P28）

工場出荷状態に戻す（オールリセット）

本製品に記録された録画データおよび設定情報をすべて消去します。

⚠ 注意

消去したデータを復元することはできません。

Ver 情報

本製品のソフトウェアバージョンを表示します。

運転支援機能設定

運転支援お知らせ設定

- ・運転支援機能の各機能のお知らせ音を[音声 / アラーム]から選択できます。
- ・初期設定は【音声】に設定されています。

■【音声】設定時のアナウンス内容

項 目	アナウンス内容
先行車発進お知らせ	ピンポン♪ 先行車を確認してください。
前方信号お知らせ	ピンポン♪ 信号を確認してください。
先行車接近お知らせ	ピピピピッ♪ 先行車に接近しています。
車線逸脱お知らせ	ピピピピッ♪ 走行車線を確認してください。
ドライブサポート 急加速時	ピッピ♪ 急加速を検知しました。
ドライブサポート 急減速時	ピッピ♪ 急ブレーキを検知しました。
ドライブサポート 急ハンドル時	ピッピ♪ 急ハンドルを検知しました。
車速アラーム	チャイム音♪ (キンコン) × 3

※【アラーム】設定時は効果音のみでお知らせします。

先行車発進お知らせ設定

- ・停車時に前方の車両の発進を検出し、お知らせを行うかの [ON/OFF] を設定できます。
- ・初期設定は【OFF】に設定されています。

前方信号お知らせ設定

- ・停車時に前方の信号機が青信号であることを検出し、お知らせを行うかの [ON/OFF] を設定できます。
- ・初期設定は【OFF】に設定されています。

先行車接近お知らせ設定

- ・設定した速度以上で走行中に自車が前方車両への接近を検出すると、お知らせを行います。
- ・[OFF/50 ~ 100km/h] から選択できます。
- ・初期設定は【OFF】に設定されています。

設 定

車線逸脱お知らせ設定

- ・設定した速度以上で走行中に走行車線の逸脱を検出すると、お知らせを行います。
- ・[OFF/50 ～ 100km/h] から選択できます。
- ・初期設定は【OFF】に設定されています。

ドライブサポート設定

- ・急加速や急減速等、一定以上の「G（加速・減速）」を検出し、お知らせを行うかの [ON/OFF] を設定できます。エコ運転の目安にしてください。また、長時間運転報知機能も連動して ON/OFF します。
- ・初期設定は【OFF】に設定されています。
- ※ G センサーの設定が 0.3G 以下の場合はお知らせしません。

アドバイス

- ・G センサーの設定に応じて検出レベルが変化します。
- ・アラームが鳴らないように運転をすることで、加速・減速など運転をする際の目安にしてください。
- ・スイッチ操作または衝撃により映像を記録している時はドライブサポートは作動しないことがあります。
- ・長時間運転報知機能のみ ON にすることはできません。

◇長時間運転報知機能

連続で 2 時間運転を行なった時に下記のアナウンスを行います。

※ 運転支援お知らせ設定を『アラーム』に設定していてもアナウンスを行います。

「運転時間が 2 時間になります。そろそろ休憩してください。」

車速アラーム設定

- ・設定した速度を超えた場合にお知らせを行ないます。また、警告後 1 分間は再アラームを行ないません。
- ・[OFF/30 ～ 140km/h] から選択できます。
- ・初期設定は【OFF】に設定されています。

駐車監視モードを使用する

駐車監視モードについて

- 本製品は車両キースイッチ OFF 後も電源供給を行い、録画を行うことができる駐車監視モードを搭載しています。
- 駐車監視モードを使用する際は、必ず設定モードより【駐車監視モード】の設定を変更してください。

⚠ 注意

- 駐車監視モードは車両の常時電源を使用しているため、車両バッテリーへの負荷がかかります。定期的に車両バッテリーの点検を行ってください。
- 次の方は車両バッテリー上がりの原因になりますのでご使用を控えてください。
(毎日乗車しない・1日の走行が1時間以下・車両バッテリーを1年以上使用している)
- 駐車監視モードの使用後は車両バッテリー電圧が低下した状態のため、必ずエンジンを始動し、車両バッテリーの充電を行ってください。車両バッテリー上がりの原因となります。
- 長時間録画を行う場合、microSDHC カードの容量や本体の設定により、録画データが上書きされる場合がありますのでご注意ください。
- 本製品は駐車監視録画の設定時間内でも、バッテリーの劣化状況や電圧を判断し停止することがあります。
- 駐車監視録画はバッテリーへの負荷が非常に掛かるため、注意してご使用ください。
- 純正用品以外の電装部品を取り付けての使用をしないでください。純正用品以外を使用時のトラブルについて、弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

駐車監視モードを使用する

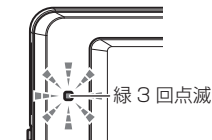
駐車監視モードの動作について

駐車監視モードに移行する

- ・[駐車監視モード] 設定を【ON】に設定し、車両キースイッチを OFF にすると駐車監視モードに移行します。

※本体の電源スイッチを OFF にすると駐車監視モードには移行できません。

- ・駐車監視モード動作中は LED ランプが 3 回点滅を繰り返します。
- ・駐車監視モード中の常時録画データは『駐車監視常時録画』データとして記録され、衝撃録画データは『駐車監視衝撃録画』データとして記録されます。



アドバイス

車両キースイッチ OFF 後、[駐車監視降車キャンセル] 設定時間内は、降車時の振動による衝撃とみなし、駐車監視衝撃録画データとして記録しません。

駐車監視モードを終了する

- ・駐車監視モードは車両キースイッチが ACC または ON になった時点やかんたんスイッチを**長押し**する、電源スイッチを OFF にすることで終了させることができます。
- ・設定電圧以下になった際や[駐車監視録画時間] 設定で設定した時間経過後にも駐車監視モードは終了します。

■ 駐車監視モードを手動で終了する場合

車両キースイッチを
ACC または ON にする

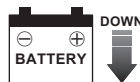
かんたんスイッチを
長押しする

電源スイッチを
OFF にする

■ 駐車監視モードが自動的に終了される場合

車両バッテリーの
電圧が低下する

設定した録画時間を
経過する



アドバイス

駐車時衝撃検出アナウンス

- ・駐車監視モード中に衝撃を検出した場合、次回起動時に駐車監視モード中に衝撃があったことをアナウンスでお知らせします。お知らせ後は【OK】スイッチを押すまで**録画を開始しません**。
- ・車両キースイッチを ACC または ON 後、[駐車監視乗車キャンセル] 設定時間内は、乗車時の振動による衝撃とみなし、上記お知らせを行いません。

ワнтаイム駐車監視モード機能

- ・通常駐車監視モード設定を【OFF】に設定していても、かんたんスイッチを**長押し**することで、一時的に駐車監視モードを ON にすることができます。
- ・車両キースイッチの OFF 後でも、かんたんスイッチを**長押し**した時点から駐車監視モードを開始することができます。
- ・外出先でのみ駐車監視モードを使用したい場合などにご使用することをおすすめします。

アドバイス

「ワнтаイム駐車監視モード」による駐車監視モードも、通常の駐車監視モード時の詳細設定が反映されます。

駐車監視モードパス機能

- ・通常駐車監視モード設定を【ON】に設定していても、かんたんスイッチを**長押し**することで、一時的に駐車監視モードを OFF にすることができます。また駐車監視モード中に操作を行うことで、駐車監視モードを終了することができます。
- ・機械式立体駐車場や振動の多い場所、風の強い日など、本製品が衝撃を検出してしまうような場所へ駐車する際にご使用することをおすすめします。

アドバイス

「ワнтаイム駐車監視モード」「駐車監視モードパス機能」は、車両キースイッチを ON にし、本体の電源を ON にすることで解除され、[駐車監視モード設定]による設定に戻ります。

駐車監視モードを使用する

駐車監視モードの各種設定

駐車監視モード設定

- ・本製品の駐車監視モードは [OFF / ON] から選択できます。
- ・初期設定は【OFF】に設定されています。

駐車監視録画方式設定

- ・本製品の駐車監視録画方式設定は [衝撃録画 / 常時・衝撃録画 / タイムラプス録画] から選択できます。
- ・初期設定は【衝撃録画】に設定されています。
[衝撃録画] 駐車監視モード中、衝撃録画のみ記録します。
[常時・衝撃録画] 駐車監視モード中、常時録画および衝撃録画の記録を行います。
[タイムラプス録画] 駐車監視モード中、1 秒に 1 枚の静止画を記録し、実際の時間より短い動画として保存することで、長時間の常時録画および衝撃録画の記録が行えます。

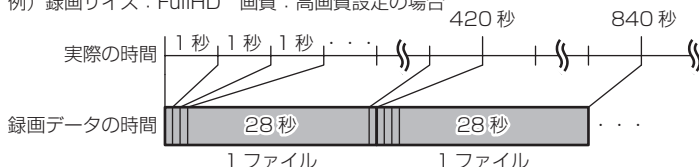
👉 アドバイス

タイムラプス録画について

- ・タイムラプス録画に設定した場合、通常 1 ファイルあたりに記録される実時間および録画データ自体の長さが、録画サイズ設定 (⇒ P40)、フレームレート設定 (⇒ P40) および画質設定 (⇒ P40) の内容により可変します。
例えば録画サイズ設定を [FullHD]、フレームレート設定を [29.1fps]、画質設定を [高画質] に設定していた場合、420 秒分の記録を 28 秒の映像で確認することができます。

■タイムラプス録画イメージ

例) 録画サイズ: FullHD 画質: 高画質設定の場合



- ※ 設定の違いによる記録される実時間および録画データ自体の長さは P62 を参照ください。
- ・通常の衝撃録画 (⇒ P12) と異なり、実時間の前半 10 秒以内に衝撃を検出した場合は前のファイルを、実時間の後半 20 秒以内に衝撃を検出した場合は後のファイルを衝撃を検出した時点のファイルとともに『駐車監視衝撃録画』データとして記録します。
- ・駐車監視モード中に電源プラグが抜けたり、常時電源線が断線するなど予期せぬ電源 OFF の際は、録画データが短く (最大 1 秒) 保存される場合があります。

駐車監視衝撃感度設定

- ・駐車監視モード中の衝撃を検出する感度を [0.03G ~ 0.15G] から選択できます。
- ・初期設定は【0.08G】に設定されています。

駐車監視録画時間設定

- ・駐車監視モードの動作時間を [30 分 / 1 時間 / 3 時間 / 6 時間 / 9 時間 / 12 時間 / 常時 ON] から選択できます。
- ・【常時 ON】に設定すると、車両バッテリー電圧が [駐車監視録画停止電圧設定] で設定した電圧に低下するまでの間、動作を行います。
- ・初期設定は【30 分】に設定されています。

駐車監視録画停止電圧設定

- ・駐車監視モードを停止する車両バッテリーの電圧を [11.9V / 12.0V / 12.1V / 12.2V] から選択できます。
- ・初期設定は【12.2V】に設定されています。

駐車監視降車キャンセル設定

- ・車両から降車する際の振動や衝撃を検出しても、駐車監視衝撃録画データとして記録を行わない時間を [1 分 / 3 分] から選択できます。
※降車キャンセル時間中でも常時録画は行います。
- ・初期設定は【1 分】に設定されています。

駐車監視乗車キャンセル設定

- ・車両から降車する際の振動や衝撃を検出しても、「駐車時衝撃検出アナウンス」(⇒ P52) を行わない時間を [1 分 / 3 分] から選択できます。
※アナウンスのみキャンセルされ、駐車監視衝撃録画データは記録されます。
- ・初期設定は【1 分】に設定されています。

ナイトビジョン設定

- ・本設定を ON にすることで、明かりの少ない夜間の駐車中でも比較的明るい映像を記録することができます。ただし、周囲に明かりが全く無いような状況では明るく撮影できない場合があります。
- ・記録映像のフレームレートは、[フレームレート設定] に関わらず、15fps 固定となります。
- ・初期設定は【OFF】に設定されています。

駐車監視モードを使用する

駐車監視モードについてのご質問

Q. 駐車監視モード中はずっと録画していますか？

- A. 本製品の駐車監視モード中は電源 OFF 後も設定により常時録画および衝撃録画を行います。ただし、駐車監視モード設定中でも【駐車監視録画時間】設定時間経過後や、車両バッテリーの電圧が【駐車監視録画停止電圧】設定以下になると、駐車監視モードを終了します。

※ 夏の暑い日や冬の寒い日など、駐車監視モード中に本体の動作温度範囲を超えた場合、録画を停止する場合があります。あらかじめご了承ください。

Q. 駐車監視モードへ移行しない、すぐに停止してしまう

- A. 1. 【駐車監視モード】設定が【OFF】になっていないかご確認ください。
2. 本製品は車両バッテリー保護のため、駐車監視録画停止電圧が設定されています。車両バッテリーが劣化している場合など、エンジン OFF 後の車両バッテリーの電圧が【駐車監視録画停止電圧】設定以下の場合やその付近の場合など駐車監視モードが作動しない場合があります。
3. 以下のような状態では駐車監視モードへ移行しません。
・「microSD カードを確認してください」と表示中
・「SD カードの初期化」画面表示中
・本体温度の高温または低温による動作停止中
・緊急録画停止中
・上書き禁止設定を【全録画】に設定し、録画領域上限まで到達した状態

Q. 駐車監視モードを使用せず、走行中のみ録画したい

- A. 【駐車監視モード】設定を【OFF】に設定してください。

Q. 駐車監視モードの作動確認を行うには？

- A. 駐車監視モード作動中は本体の LED ランプが下記点滅を繰り返します。

状態	LED ランプ
駐車監視モード作動中	緑 3 回点滅
駐車監視モード作動中に衝撃を検出	緑点滅

Q. 側方の映像も録画しますか？

- A. 本体およびリヤカメラの向いている方向のみの録画となります。

Q. 夜間の街灯などの無い暗い所でも撮影できますか？

- A. 駐車監視モード中はヘッドライトなどの光源が無いため、状況によって鮮明な映像が記録できない場合がありますが、【ナイトビジョン設定】を ON に設定することで、比較的明るい映像を記録することができます。ただし、周囲に明かりが全く無いような状況では明るく撮影できない場合があります。あらかじめご了承ください。

よくあるご質問

よくお問い合わせ頂くご質問を記載しています。下記内容をご確認ください。

症 状	ここをチェックしてください。	参照ページ
LED ランプが点灯しない。	●ヒューズが切れていませんか？ ●接触不良や断線などしていませんか？ ●本体の電源スイッチが OFF になっていませんか？	— — 16 ページ
GPS 衛星を受信しない。	●フロントガラスが断熱ガラスなどではありませんか？ ●本体カメラ側に電波を遮断する物がありますか？	6 ページ —
記録した映像を削除したいのですが？	●SD カードの初期化（※ 1）を行うことで映像を削除することができます。※選択して削除することはできません。	48 ページ
事故の衝撃映像が保存されていない。	●事故時の衝撃によっては、衝撃録画されない場合があります。念のためスイッチ操作での録画を行うことをお勧めします。	—
記録時間を変更するにはどうすればいいですか？	●[録画サイズ]、[フレームレート]および[画質]の設定を変更することで記録時間を変更することができます。※上記設定を変更すると microSDHC カードが初期化（※ 1）されます。	40,59 ページ
microSDHC カードの容量がいっぱいになったらどうなりますか？	●microSDHC カードの容量がいっぱいになると古い映像から順に消去し、新しい映像の記録を続けます。 ●衝撃録画データおよびマニュアル録画データは上書き禁止設定を[イベント録画]または[全録画]に設定しているとエラーが表示され、上書きされません。録画を再開するには上書き禁止設定を[OFF]に設定してください。	11 ページ 43 ページ
microSDHC カードに録画データが保存されていない。	●microSDHC カードは消耗品であり、書き込み可能回数など製品寿命があります。3 年を目安に交換することをお勧めします。また使用状況により microSDHC カードの寿命は短くなります。 ●同梱または純正以外の microSDHC カードを使用されていませんか？	8 ページ 8,9 ページ
起動しなくなったり、動作が不安定になる。	●microSDHC カード内に本機以外のデータが保存されていませんか？ ●必要な映像をパソコンへ保存してから、本体で microSDHC カードの初期化（※ 1）を行なってください。	5 ページ 8 ページ
記録した映像は、事故の証拠として認められていますか？	●事故発生時の参考資料として使用することを目的とした製品です。完全な証拠としての効力を保証するものではありません。	—
microSDHC カードがパソコンで認識されない。	●お使いの SD カードリーダーは SDHC に対応していますか？ 付属のカードは microSDHC カードとなっているため、SDHC に対応している必要があります。	—

※ 1 microSDHC カード内のデータがすべて消去されます。録画データが必要な場合は、必ずパソコンに保存してください。（⇒ P28）

LED ランプ確認表

本体動作時の LED ランプの確認表です

本体 LED 表示	リヤカメラ LED 表示	本体動作	内容
緑点灯	緑点灯	録画中	録画中
緑点滅		録画中	衝撃録画中またはマニュアル録画中
橙点灯		録画停止	・ 起動中 ・ 設定モード中 ・ 再生モード中 ・ 本体温度の高温または低温による動作停止中
橙点滅		録画停止	・ エラー表示中 ・ 緊急録画停止中
緑・橙交互点滅		録画停止	本体ソフトウェアのアップデート中

エラー確認表

下記メッセージが表示された場合、対処方法をご確認ください。

メッセージ	対処方法
microSD カードを 確認してください	・ microSDHC カードが未挿入の場合は電源を OFF にし、microSDHC カードを挿入し、再度起動してください。 ・ microSDHC カードが故障している可能性があります。電源 OFF 後、microSDHC カードを抜き、端子部が汚れていないか確認後、microSDHC カードを挿入し再起動してください。症状が改善されない場合は、パソコンでフォーマットを行ない、お試しください。それでも改善されない場合は microSDHC カードの交換をおすすめします。
高温注意 本体温度が高温の為 録画・再生機能を停止します	本体の動作温度範囲を超えているため、正常に動作できません。 しばらく時間をおいて動作温度範囲内に戻ってからご使用ください。
低温注意 本体温度が低温の為 録画・再生機能を停止します	
イベント録画停止 録画領域がいっぱいです	上書き禁止設定 (⇒ P43) を [イベント録画] または [全録画] に設定した状態で、microSDHC カードの容量を超えて録画しようとした際に出るエラーです。 上書き禁止設定を [OFF] に設定するか、SD カードの初期化を行い録画データを消去してください。
録画停止 録画領域がいっぱいです	

※ エラーの際は上記メッセージ画面を表示し、LED ランプの橙点滅でお知らせします。

記録時間の目安

microSDHC カードの容量による記録時間の目安

記録時間は録画サイズ設定、画質設定により変動します。下記表を参考にしてください。

※ 本製品付属 microSDHC カード：32GB（class10）

【おまかせ録画】、【録画サイズ】、【フレームレート】、【画質】、【イベント録画領域】の設定を変更した際は microSDHC カード内のデータがすべて消去されます。録画データが必要な場合は、必ずパソコンに保存してください。（⇒ P28）

録画 サイズ	フレーム レート	画質	記録時間
Full HD	29.1fps	高画質	約 180 分
		低画質	約 200 分
	19.1fps	高画質	約 200 分
		低画質	約 240 分
HD	29.1fps	高画質	約 200 分
		低画質	約 240 分
	19.1fps	高画質	約 240 分
		低画質	約 300 分

※ 本製品の初期設定は録画サイズが【FullHD】、フレームレートが【29.1fps】、画質が【高画質】に設定されています。

※ 本機に付属または純正の microSDHC カードを使用してください。付属または純正品以外では正しく動作しないことがあります。

付 録

タイムラプス録画設定時の記録時間

- ・駐車監視モード設定を「タイムラプス録画」設定にした場合、録画サイズ設定、フレームレート設定および画質設定の内容により記録時間は可変します。
- ・記録される実際の時間の目安は下記表を参考にしてください。

■記録時間の目安

録画サイズ	フレームレート	画質	記録時間
Full HD	29.1fps	高画質	約 44 時間
		低画質	約 43 時間
	19.1fps	高画質	約 43 時間
		低画質	約 41.5 時間
HD	29.1fps	高画質	約 43 時間
		低画質	約 41.5 時間
	19.1fps	高画質	約 41.5 時間
		低画質	約 40 時間

※ 本製品の初期設定は録画サイズが【FullHD】、フレームレートが【29.1fps】、画質が【高画質】に設定されています。

※ 本機に付属または純正の microSDHC カードを使用してください。付属または純正品以外では正しく動作しないことがあります。

■ 1 ファイルあたりの記録時間の目安

録画サイズ	フレームレート	画質	記録される実際の時間	録画データ自体の長さ
Full HD	29.1fps	高画質	約 420 秒	約 28 秒
		低画質	約 360 秒	約 24 秒
	19.1fps	高画質	約 360 秒	約 24 秒
		低画質	約 300 秒	約 20 秒
HD	29.1fps	高画質	約 360 秒	約 24 秒
		低画質	約 300 秒	約 20 秒
	19.1fps	高画質	約 300 秒	約 20 秒
		低画質	約 240 秒	約 16 秒

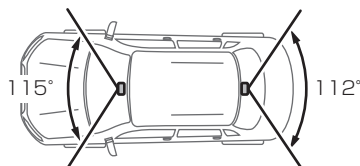
製品仕様

電源電圧	DC12V	
最大消費電流	520mA 以下	
動作温度範囲	-10℃～60℃	
カメラ	フロントカメラ	リヤカメラ
撮像素子	1/2.7 型 CMOS センサー	1/2.7 型 CMOS センサー
総画素数	200 万画素	200 万画素
有効画素数	最大 200 万画素	最大 200 万画素
レンズ画角	水平 115° 垂直 58° (対角 145°)	水平 112° 垂直 84° (対角 140°)
F 値	F2.0	F2.4
レンズ材質	ガラス	ガラス
記録映像サイズ	FullHD (1920 × 1080) HD (1280 × 720)	
録画画質	FullHD	高画質 (平均 8Mbps) / 低画質 (平均 6Mbps)
	HD	高画質 (平均 6Mbps) / 低画質 (平均 4Mbps)
GPS	○	
G センサー	○ (0.1G ～ 1.0G : 0.1G 単位で設定可)	
記録方式	常時録画 / イベント録画 / マニュアル録画 (手動録画)	
録画ファイル構成	30 秒単位	
音声録音	ON/OFF 可能	
フレームレート	19.1fps / 29.1fps	
映像ファイル形式	AVI (MPEG-4 AVC / H.264)	
記録映像再生方法	専用ビューワソフト ※ Windows7/8.1/10 専用 (タブレット PC 除く) 本体液晶	
記録媒体	microSDHC カード (付属 : 32GB/class10)	
液晶サイズ / 液晶解像度	2.8 インチフルカラー TFT 液晶 / 320 × 240	
本体サイズ	フロントカメラ	リヤカメラ
	95.6(W)×62(H)×32.5(D)/mm	55(W)×25(H)×28(D)/mm
	取付ステー装着時 95.6(W)×95.5(H)×32.5(D)/mm	55(W)×43(H)×28(D)/mm
重量	140g	33g

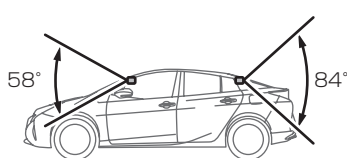
※ 本製品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。予めご了承ください。

■カメラ画角イメージ

■ 水平画角



■ 垂直画角



※実際の取付位置は、車両によって異なります。

さくいん

1/A

2 画面表示	18
GPS	7
G センサー	44
HDR	41
microSDHC カードについて	8
SD カードの初期化	48
WDR	41

あ

イベント録画	12
イベント録画件数	43
イベント録画領域	43
上書き禁止設定	43
運転支援機能	31
液晶明るさ設定	46
液晶表示の切替え	18
オールリセット	48
おまかせ録画	40

か

画質設定	40
画像補正機能	41
画面表示設定	46
かんたん再生機能	21
かんたんスイッチ	44
キャリブレーション	35
記録時間	59
緊急録画停止機能	45
黒つぶれ	41

さ

車線逸脱お知らせ機能	33
車速アラーム機能	34
衝撃録画	12
常時録画	11
白とび	41
先行車接近お知らせ機能	33
先行車発進お知らせ機能	32
前方信号お知らせ機能	32

た

タイムスタンプ	44
タイムラプス録画	54
駐車監視降車キャンセル	55
駐車監視衝撃感度	55
駐車監視乗車キャンセル	55
駐車監視モードパス機能	53
駐車監視録画時間	55
駐車監視録画停止電圧	55
駐車監視録画方式	54
長時間運転報知機能	50
ドライブサポート機能	34

な

ナイトビジョン	55
---------	----

は

パスワード	47
ビューワソフト	23
ファイルシステム	8
ファイル名	15
フォルダー名	15
フレームレート設定	40
フロントカメラ輝度設定	41

ま

マニュアル録画	13
---------	----

ら

リヤカメラ輝度設定	41
リヤカメラ鏡像設定	42
リヤカメラ上下反転設定	42
録音設定	42
録画お知らせ音	46
録画サイズ設定	40
録画領域	14
ロングマニュアル録画	13

わ

ワンタイム駐車監視モード機能	53
----------------	----

保証とアフターサービス

●保証について

本機の保証期間はメンテナンスノートに記載されている登録日または取付日より 3 年、または走行距離 60,000km です。

●修理に関するご相談は・・・

修理などのアフターサービスについては、お買い上げの販売店にご相談ください。

●保証期間中は・・・

お買い上げの販売店が修理させていただきます。

ご依頼の際はメンテナンスノートのコピーを必ずご提示ください。本機以外の原因（衝撃や水分、異物の混入など）による故障の場合は、保証対象外となります。

●保証期間経過後は・・・

お買い上げの販売店にご相談ください。

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料にて修理いたします。



販売元：スバル用品株式会社

012191-10-EM